

・事業名 飛騨高山ZINE倶楽部
・活動目的 SNSだけが表現の場になってしまっている現在、インターネット上では理解されにくいようなこと、曲解されてしまいそうなことをあえて紙媒体で表出していく。

そうすることでより実感のある拡がり方、それに対する評価を得ることで次の創作に繋げていけるのではないかと考えている。

事業詳細、事業結果、アンケート等

当初の予定より部数は少なくなってしまったが、その分デザインや紙質にこだわりを持たせた。配布が始まって間もないため、読者の反応はまだ未知数だが、原稿を依頼した人たちからは、「紙面に載る文章を書くのがこんなに思い通りにいかないものだとは思っていなかった」「いままではいつでも自分本位にSNSなどに作品を投稿していたため、締め切りに追われる感覚が新鮮だった。」など、紙面にすることの難しさを感じてもらった。一方で、締め切りを守ることや、一人ではなくだれかと一緒に一つの媒体を作り上げることに関わったことで、自身の糧になったという意見も。

出

入

口

・事業の概要 創作をし続けている、探求をし続けている人の成果を本にまとめていく。文章、書評、エッセイ、短歌、絵、写真、偏愛、縫製、油絵、日記、往復書簡など

掲載人数6人

B4四つ折りフルカラーのものを300部作成

今後の展望、補助金を活用してみても。

今後とも何らかの媒体を出し続けることを目標に活動を続けていく。実際にお金がかかるといことを細かに報告しなければならない補助金を活用したからこそ、今後自分たちだけで活動を続けていくための収支予算などを作る練習にもなった。以前からやりたいと思っていた雑誌を作るということが、今回の補助金をきっかけに動き出した。そうしたきっかけを頂けたいい制度だと思う。

・補助金の使途 誌面デザイン費、原稿料

飛騨高山ZINE倶楽部
電話番号：090-6751-5676